

「平和、環境、健康」事業推進の「塾」および「研究会」の発足

- ◇塾・研究会設立の目的「平和、環境、健康」事業を通じて社会に喜びの輪を広げる。(目的、意義)
会に参加することにより、天寿がまっとうでき、楽しく愉快地暮らせる世の中を創造する。
- ◇活動手法……天略、政略、の手法を用いる
推進事業は歴史の評価に耐える内容とする(目的、意義)
楽しく持続的な社会、地政学(地理、気候、事件が味方する)
歴史、人間学を活用し論理的に進める。

塾

1. 中海圏で「和」の生まれる事業を展開する。

- 1) 災い転じて福となす 2) 対立から共生の文化へ
3) ITコンテンツで世界へ発信

2. 「平和、環境、健康」特別区を実現し事業を展開する。

- ・なぜ「平和、環境、健康」特別区か
・特別区申請内容と狙い・特別区の活用
1) 森林石碑干潟公園 2) 戦争記念大ホール
3) 平和教育研究施設 4) 写真映像記念館
・中四国道州制

3. 食文化の高揚と世界平和

- ・健康の形……薬、食、体操、心、脳
・塾の進め方……演+パネルディスカッションあるいは
対談+メディア(映像)またはシンポジウム
・活動目標……「食」、「水」、の基本理念と技術展開
・活動手法……競争と協力の生まれる場
・天略の手法を用いる
・三者がいて3味一体誰も美味しい
・人の役割、他カプラス自力本願
・自分にとって意義あることをする
・人間学と歴史、人をその気にさせる
・技術的な発展をうながす
・企業は最小の費用で最大の利益
・活動テーマ……山間地域の活性化
1) 玄米食、醗酵、地産解消
2) 有益機能水、
・「食」の意義(水と玄米と塩と風土)
・マクロビオティックの効用
・地産地消の意味するもの
・塾の開催……年間2~3回

研究会

- ・活動内容……食、機能水などの具体的な事業活動展開、利用、活用手法
・活動手法……周囲から人、物、金が集まる仕組み
地に足がついた人、地の理を生かす人
誰でも参加できる、継続することに価値がある
- ・会の進め方……講演+パネルディスカッション、体験、実習、討論
・会の運営……会の運営とサポートはHNS研究所
・会の開催……月1回~2回
・会の活動研究テーマ
- 1) 食と健康(命を創る食の文化)
・「食」の意義(水と玄米と塩と風土)
・マクロビオティックの効用
・日本の伝統「食」(環境の見直し)
・KIJ(食の学校)
- 2) 水、有益機能水の活用
・水と出雲文明、鉄と水
・川、山、汽水湖の文化(山陰の特性と歴史)
・有益機能水製造プラントの仕組み
・有益機能水の活用 農業(水稻、野菜、花、果樹)
・漁業(魚貝類)、畜産、建設、家庭
・機能水の有用性研究
・有益機能水を活用した「藻」製造プラントと稚魚、
稚魚の育成と養殖
・中海、宍道湖の再生
- 3) 山間地域の活性化活動事業
・雲南市吉田町の活性化
・奥出雲町仁多、横田の活性化 他

塾及び研究会についての詳細・お問い合わせは下記まで。

HNS 財団法人 人間自然科学研究所
Human Nature Science

〒690-0046 島根県松江市乃木福富町 735-188

TEL/050-3161-2490 FAX/050-3161-3846

E-mail asyura@green.hns.gr.jp URL http://www.hns.gr.jp

「平和環境健康特別区」申請 特別シンポジウム

今、なぜ中海圏で「和」の生まれる事業か?



希になる樹

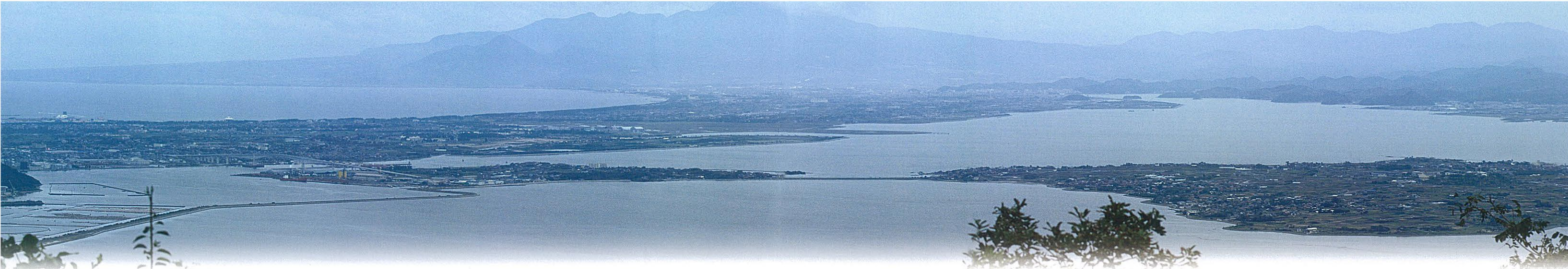
日時:平成18年 3月10日(金) 13:30~

場所:くにびきメッセ国際会議場

パーティー会場:松江東急イン

主催 **HNS** 財団法人 人間自然科学研究所

後援:松江地区日韓親善協会・日本海テレビ・山陰放送・山陰ケーブルビジョン・中海テレビ放送・NHK松江放送局・
毎日新聞 松江支局・島根日日新聞社・商工組合中央金庫 松江支店・鳥取県観光事業団 中国庭園 燕趙園
山陰ファミリー保険エージェンシー・日本音楽熟成協会・太陽の会・スパイラル・小松電機産業 順不同



平和、環境、健康 事業の推進

科学技術の進歩により地球上に存在する石油、石炭、鉄などの有効鉱物資源をフルに活用して、人類は、高度の文明を開花させ繁栄を成し遂げてまいりました。しかし、今日の世界の現状は、多くの有効資源の枯渇と石油をはじめ主要資源の獲得競争、地球の温暖化と災害の多発、人口の爆発的な増加による貧困と飢餓、公害の拡大、ウイルス（エイズ、鳥インフルエンザ）、湖沼での魚をはじめとする生物の死、砂漠化の拡大、民族・宗教対立とテロなどマイナス要因が頻発しています。世界の平和と地球の永続に強い警告が世界中で提起されておりますが、問題の解決に確かな糸口は見えていません。

食糧の60%、エネルギーをはじめ資源の95%を海外に依存している日本の生存条件は、世界の国々と共存共栄できる環境をいかに築き上げ、平和の道を歩み続けることの出来る最善の方法を生み出すこと以外にはないと考えます。

今回、私たちは、十数年に亘る実績の積み重ねをもって、歴史の評価に耐えるグランドデザインを、最も困難な社会問題を総合的に解決する視点で、中国・四国平和州構想「平和環境健康特別区」申請書として平成17年小泉総理に提出いたしました。今こそ、このテーマのもとに討議を重ね、日本が求められている世界の中の立場を理解し、国民の一人ひとりが果たすべき役割をより明確にしていけることが求められる時代となってまいりました。

この度、玄米食を主としたマクロビオティック世界平和活動で国際的に著名な久司道夫先生をお迎えし、山東省日本学会顧問、張碧清先生、ほか著名人のご出席を得て、今回のシンポジウムを開催いたしますことになりました。この会が、一つの契機となり、中海圏からの提案が日本の21世紀像を創るための契となることを願っています。

財団法人人間自然科学研究所
理事長 小 松 昭 夫
中国、韓国、米国、シンガポールともつながっています。
詳しくはホームページをご覧ください。URL <http://www.hns.gr.jp>



久司 道夫
1926年、和歌山県生まれ。東京帝国大学法学部卒業後、同大学院で国際政治学を専攻。世界連邦主義者の桜沢如一氏らの影響を受け、49年に渡米。コロンビア大学大学院政治学部で世界平和の道を探究。人類の平和にはバランスのとれた健康食、つまりマクロビオティック食が必要であると悟り、世界的規模でその啓蒙・普及活動に取り組む。久司氏の啓蒙する食事は、全粒穀物と季節毎に採れる食べ物に基づく食事療法で、アメリカではカーター元大統領、クリントン元大統領、マドンナやトム・クルーズなど、知識人、実業家、映画スターなどを中心に約200万人が久司氏やその教授人の指導を受け、実践している。アメリカの食生活、代替医療、健康法に多大な影響を与え、アメリカの歴史に大きな潮流を作ったと評価され、スミソニアン博物館に殿堂入りした。日本においても2004年5月、山梨県小淵沢に設立された有限責任中間法人KIJ（クシスティテュートオブジャパン）の代表理事に就任。国内におけるクシマクロビオティックの普及と指導者養成に本格的に取り組んでいる。ボストン在住。



故・久司アヴェリーヌ惜子



張 碧清
中国 柳州市生まれ。北京大学を1955年卒業してから「中国人民外交学会」に8年間の勤務を経て「中国国際問題研究所」で日本をはじめ国際問題について研究している。日中問題に関わる政治、経済、文化、環境保全などあらゆる研究を進めている。1994年より「中日民間文化交流センター」の主任を兼務。



ばば こういち (本名 馬場康一)
放送ジャーナリスト
[経歴]1933年(昭和8年)大阪生まれ、山形育ち。東北大学経済学部卒業後、大和證券を経て放送界に入る。文化放送、フジテレビ、東京12チャンネルでの局員生活の後、1966年フリーの放送ジャーナリストとして独立、テレビ番組の出演、企画制作、執筆・講演活動を続け今日に至る。メディア、環境、高齢化、ユニバーサルデザイン、まちづくりなど21世紀に向かうさまざまなテーマに精力的に取り組んでいる。(株)ばばこういち事務所代表



小松 昭夫
1944年、島根県生まれ。1963年佐藤造機(三菱農機)入社。中央研究所にて農業機械の研究開発に従事。1973年小松電機産業を創業、シドジャッター「門番」、「やくも水神」を開発、発表。1994年社会問題の研究と企業活動を通じて問題解決の出来る人材養成機関を目指してHNS研究所(現(財)人間自然科学研究所)を設立し、会社経営のみならず国際・国内の社会問題に対して積極的に提言・活動している。小松電機産業株式会社 代表取締役、財団法人人間自然科学研究所 理事長、孔子文化大学客員教授

- 特別ゲスト**
- 山東省日本学会 会長 …………… 李 殿魁
 - ☐ 山東社会科学院外事処 副処長
 - 山東日本学会 理事、副事務局長(兼務) …………… 孫 衛東
 - ☐ 山東社会科学院 日本研究中心 主任
 - 山東省外経学会常務理事
 - 山東省日本学会 理事 …………… 劉 淑琪
 - ☐ 山東社会科学院 日本研究中心 副研究員 …………… 徐 文泉
 - ☐ 山東社会科学院 日本研究中心 助手研究員 …………… 張 毅

連絡先／ 日本:井川久士、上田恵美子 中国:魏 亜玲、穆 琳 韓国:尹 熙俊、李 潤珠

※切り取って係員にお渡し下さい。----

当日の参加申し込み

申し込み欄に○印をつけてください。

特別シンポジウム	会費 3,000円	
マクロビオティック レセプション	会費 5,000円	

事前にチケット代金お振り込みの方は下記へお願いします。

山陰合同銀行 古志原支店 普通 3636335 財団法人 人間自然科学研究所

ご芳名	
貴社名	
ご住所	〒 -
T E L	FAX () -
E-mail	

タイムスケジュール

